

令和1年度 福祉サービス第三者評価結果

《事業者情報》

対象事業所名	でっかいそら 晴天
経営主体(法人等)	特定非営利活動法人 でっかいそら
対象サービス	就労継続支援 B 型
設立年月日	平成 25 年 12 月 1 日
定員 (利用人数)	40 名
事業所住所等	横浜市旭区下川井町 2200-1 / 電話番号 045-444-8850
職員数	常勤職員 9 名 ・ 非常勤職員 8 名
評価実施年月日	令和 1 年 11 月 28 日・29 日
第三者評価受審回数	初回
実施評価機関	株式会社 R-CORPORATION

《実施方法》

評価項目	標準となる評価基準
自己評価実施	期間： 令和 1 年 7 月 25 日～令和 1 年 11 月 7 日 実施方法：自己評価表を全職員に配付し、提出したものを施設長で集計し、機関へ提出をした。
利用者アンケート	ご家族にアンケート用紙を事業所から配付してもらい、回収・集計・分析を行い、1 次分析として調査訪問の 3 週間前に事業所へ提出を行う。

<理念>

- 「あきらめない 投げ出さない くじけない」

<基本方針>

- 利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。
- 関係法令を遵守し、他の社会資源との連携を図り、利用者の意思を尊重し適正できめ細かなサービスを提供する。

<施設・事業所の特徴的な取り組み>

- サービスの提供に当っては利用者の心身の状況に応じ、自立の支援と日常生活の充実に資するよう、適正な技術を持って支援に当たっています。
- 利用者の意思と人格を尊重し、常に利用者の立場に立ってサービスを提供するよう努めています。
- 利用者それぞれが、自分の持っている力を発揮し、やりがいや達成感を得られるよう様々な作業を用意しています。
- 職場については、明るく活気のある雰囲気を持っています。

《総合評価》

《特に評価の高い点》

1. 【あきらめない支援】

●障害者を養護学校からグループホームでの自立の生活まで、一般的に支援できる体制が、「特定非営利活動法人でっかいそら」にはあります。小学校の支援学級から高校に相当する養護学校までの児童については、放課後デイサービスによる発達支援のサービスを提供し、学校を卒業した後については障害の種類や支援区分に応じた各種事業所が存在し、自立のためのグループホームも運営する等、障害を持つ人たちの全てを受け入れ、法人理念の通り、「あきらめない 投げ出さない くじけない」支援を総合的に実践しています。

2. 【障害者・児の支援要望に対応】

●障害者対応について、世の中には支援を必要とする人たちがたくさん存在し、その受け入れ先は少なく、誰が看るかが問われています。行政はその方向性は理解しているものの、迅速な対応には不向きな機関とも言え、「今」に対応する面については難しいことが否めません。そのため、特定非営利活動法人として全てを受け入れ、体制を備え、理事長の行動力がこの「でっかいそら」を丈夫な特定非営利活動法人として確立させています。「あきらめない」支援に併せて何についても「投げ出さない」事業展開につながっています。

3. 【働きやすい環境の整備】

●でっかいそら晴天は、就業継続支援 B 型の事業所であり、生産活動を行い、工賃を得る事業所です。1 日中仕事に忙しい職場なので利用者同士の風通しが良いことが重要です。定期で慣習としている朝礼、夕礼があり、スケジュール等の連絡を行うと共に日常的にワークショップを実施し、互いの意見を出し合い、互いに啓発する活動を続けています。一人ひとりが目標を持ち、コミュニケーションを心がけ、風通しの良い職場を維持できるよう、職員は整備に努めています。

《改善を求められる点》

1. 【体制の強化について】

●特定非営利活動法人でっかいそらの課題は、急速に形態が大きくなり過ぎたため、何事も理事長に頼る傾向がまだある点を指摘及び自覚されています。現在の法人系列の事業所数は、とても理事長 1 人では見切れない程大きな組織です。法人としても第二期中・長期計画の中で事業分野ごと、事業所ごとの指導者の育成と権限の委譲が必至であると考えられます。組織化、トップ管理者・中間管理者の育成が急務であり、今後のさらなる展開に大きく期待されます。